

「オーパ！世界の旅人**開高健**」展

展示図書リスト・開高健年譜・参考資料



6月19日（金）から7月15日（水）まで、1階エントランスギャラリーにて、開高健のオーパ旅行に料理人として随行した谷口博之さんの貴重な所蔵品の展示を行います。また、6月28日（日）と7月5日（日）には、開高健ゆかりの方の講演会を開催します。

それに合わせて地下1階では、期間中、開高健の著書および関連図書の図書展示を行います。

これを機会に、釣り人、行動する作家、開高健の魅力に触れてみませんか。

平成27年6月19日（金）～7月15日（水）

中央図書館地下1階 レクリエーションコーナー横(レストラン側)

大阪市西区北堀江4-3-2 06-6539-3303

<http://www.oml.city.osaka.lg.jp/>

【1. 開高健について知る ～人と文学～（作家論・作品論など）】

書誌ID	タイトル	著者	出版者	出版年	分類
0000750826	蒼穹と共生 -立原正秋 山川方夫 開高健の文学-	金子 昌夫/著	菁柿堂	1999.6	910.26
0010515134	開高健がいた。(コロナ・ブックス 106)	コロナ・ブックス編集部/編	平凡社	2003.4	910.28
0011865089	開高健の名言	谷沢 永一/著	ロングセラーズ	2009.5	910.28
0012009543	開高健 -生誕80年記念総特集-(KAWADE夢ムック)		河出書房新社	2010.1	910.28
0012301419	わたしの開高健	細川 布久子/著	集英社(発売)	2011.5	910.28
0010749701	開高健の憂鬱	仲間 秀典/著	文芸社	2004.5	910.28
0012164291	ごぞんじ開高健(開高健記念会「紅茶会」講演集 5)		開高健記念会	2009.12	910.28
0010884369	男、が、いた。開高健 -Noboru Takahashi photographic book-	高橋 昇/撮・文	小学館	2005.1	910.28
0010326358	開高健のいる風景	菊谷 匡祐/著	集英社	2002.6	910.28
0000255482	回想開高健	谷沢 永一/著	新潮社	1992.2	910.28
0000235312	開高健—闇をはせる光芒	平野 栄久/著	オリジン出版センター	1991.9	910.28
0000776139	開高健その人と文学	大岡 玲/[ほか]著	TBSブリタニカ	1999.12	910.28
0000716915	回想開高健(PHP文庫)	谷沢 永一/著	PHP研究所	1999.1	910.28
0000769297	開高健青春の闇(文春文庫)	向井 敏/著	文芸春秋	1999.11	910.28
0000441593	夫開高健が残した瓔	牧 羊子/著	集英社	1995.3	910.28
0000255301	開高健 青春の闇	向井 敏/著	文芸春秋	1992.2	910.28
0000239055	悠々として急げ -追悼開高健-	牧 羊子/編	筑摩書房	1991.1	910.28
0070073848	コレクション 開高健	谷沢 永一/[ほか]編	潮出版社	1982.9	910.28
0000161687	ザ・開高健 -巨匠への鎮魂歌-		読売新聞社	1990.7	910.28
0011194887	開高健 -Portrait de Kaiko-	開高健記念会/編	開高健記念会	2004.12	910.28
0012245658	大阪で生まれた開高健	難波 利三/著	たる出版	2011.3	910.28
0000428964	父開高健から学んだこと	開高 道子/著	文芸春秋	1994.12	Eカイ
0011939456	われらの獲物は、一滴の光り	開高 健/著	ロングセラーズ	2009.1	Eカイコ

【2. 開高健の作品】

書誌ID	タイトル	著者	出版者	出版年	分類
0070122315	人は、いざ… -開高健全人物論集- 4	開高 健/著	潮出版社	1984.3	280
0011487781	ずばり東京(光文社文庫 か40-4)	開高 健/著	光文社	2007.9	302.1
0080018587	人は、いざ…… -開高健全人物論集-	開高 健/著	潮出版社	1983.1	910.26
0080018698	人は、いざ… -開高健全人物論集- 2	開高 健/著	潮出版社	1983.11	910.26
0080019667	人は、いざ… -開高健全人物論集- 3	開高 健/著	潮出版社	1983.12	910.26
0000240366	風に訊け -ライフスタイル・アドバイス-	開高 健/著	集英社	1984.12	Eカイ
0000240369	風に訊け -ライフスタイル・アドバイス-	開高 健/著	集英社	1985.9	Eカイ
0080011645	食後の花束(現代の随想)	開高 健/著	日本書籍	1979.6	Eカイ
0000184335	知的経験のすすめ -何んでも逆説にして考えよ-(青春愛蔵版)	開高 健/著	青春出版社	1987.3	Eカイ
0000234141	小説家のメニュー	開高 健/著	TBSブリタニカ	1990.11	Eカイ
0000688060	風に訊け -ライフスタイル・アドバイス-(集英社文庫)	開高 健/著	集英社	1986.6	Eカイ
0000557168	ピカソはほんまに天才か -文学・映画・絵画…-(中公文庫)	開高 健/著	中央公論社	1991.6	Eカイ
0000263079	知的な痴的な教養講座(集英社文庫)	開高 健/著	集英社	1992.5	Eカイ
0000643720	冒険者と書斎(ランティエ叢書 5)	開高 健/[著]	角川春樹事務所	1997.9	Eカイ
0070074754	ずばり東京(文春文庫 127-6)	開高 健/著	文芸春秋	1982.1	Eカイ
0070040926	食後の花束(角川文庫 5830)	開高 健/[著]	角川書店	1985.1	Eカイ
0000229525	声の狩人(同時代ライブラリー 56)	開高 健/著	岩波書店	1991.1	Eカイ
0070104448	人とこの世界(中公文庫)	開高 健/著	中央公論社	1990.7	Eカイ
0000233430	過去と未来の国々 -中国と東欧-(同時代ライブラリー 58)	開高 健/著	岩波書店	1991.2	Eカイ
0000192168	ベトナム戦記(朝日文庫)	開高 健/著	朝日新聞社	1990.1	Eカイ

【2.開高健の作品】

書誌ID	タイトル	著者	出版者	出版年	分類
0080001442	開口閉口 1	開高 健/著	毎日新聞社	1976	Eカイ
0080001532	開口閉口 2	開高 健/著	毎日新聞社	1977	Eカイ
0070028334	ああ。二十五年。-1958-1983-	開高 健/著	潮出版社	1983.7	Eカイ
0000161454	知的な痴的な教養講座	開高 健/著	集英社	1990.3	Eカイ
0070089238	自選「作家の旅」開高健	開高 健/[著]	山と溪谷社	1977	Eカイ
0080030571	新しい天体	開高 健/著	潮出版社	1974	Eカイ
0080058095	悠々として急げ -対談集-(角川文庫)	開高 健/著	角川書店	1979.11	Eカイコ
0011981683	ああ。二十五年(光文社文庫 か40-10)	開高 健/著	光文社	2009.12	Eカイコ
0011844500	人とこの世界(ちくま文庫 か53-1)	開高 健/著	筑摩書房	2009.4	Eカイコ
0011457447	日本人の遊び場(光文社文庫 か40-3)	開高 健/著	光文社	2007.7	Eカイコ
0012098613	開高健の文学論(中公文庫 か2-6)	開高 健/著	中央公論新社	2010.6	Eカイコ
0011984798	饒舌の思想(ちくま文庫 か53-2)	開高 健/著	筑摩書房	2009.12	Eカイコ
0011642295	一言半句の戦場 -もっと、書いた!もっと、しゃべった!-	開高 健/著	集英社	2008.5	Eカイコ
0011912495	白いページ(光文社文庫 か40-8)	開高 健/著	光文社	2009.8	Eカイコ
0011566999	声の狩人(光文社文庫 か40-6)	開高 健/著	光文社	2008.1	Eカイコ
0080068827	地球はグラスのふちを回る(新潮文庫)	開高 健/著	新潮社	1981.11	Eカイコ
0080058336	開口閉口(新潮文庫)	開高 健/著	新潮社	1979.12	Eカイコ
0070066195	片隅の迷路	開高 健/著	毎日新聞社	1976	Fカイ
0080033673	ロビンソンの末裔	開高 健/著	中央公論社	1961	Fカイ
0080033787	青い月曜日	開高 健/著	文芸春秋	1969	Fカイ
0080009461	開高健自選短編集	開高 健/[著]	読売新聞社	1978.6	Fカイ
0000185510	珠玉	開高 健/著	文芸春秋	1990.2	Fカイ
0000308779	花終る闇(新潮文庫)	開高 健/著	新潮社	1993.3	Fカイ
0000298072	珠玉(文春文庫)	開高 健/著	文芸春秋	1993.1	Fカイ
0070093508	ロビンソンの末裔(新潮文庫)	開高 健/著	新潮社	1981	Fカイ
0000289220	青い月曜日(文春文庫)	開高 健/著	文芸春秋	1986	Fカイ
0070017735	輝ける闇(新潮文庫)	開高 健/著	新潮社	1982.1	Fカイ
0070045750	あかであめ めらんこりあ	開高 健/[著]	角川書店	1981.1	Fカイ
0070040091	輝ける闇	開高 健/[著]	新潮社	1980	Fカイ
0070015363	歩く影たち	開高 健/著	新潮社	1979.5	Fカイ
0000195406	破れた繭 -耳の物語-	開高 健/著	新潮社	1986.8	Fカイ
0000195407	夜と陽炎 -耳の物語-	開高 健/著	新潮社	1986.8	Fカイ
0080333409	見た 揺れた 笑われた	開高 健/著	筑摩書房	1964	Fカイ
0000141580	花終る闇	開高 健/著	新潮社	1990.3	Fカイ
0070015364	渚から来るもの	開高 健/著	角川書店	1980.2	Fカイ
0012274069	日本三文オペラ :改版(新潮文庫 か-	開高 健/著	新潮社	2011.3	Fカイコ
0012122979	夏の闇 :改版(新潮文庫 か-5-10)	開高 健/著	新潮社	2010.7	Fカイコ
0012085122	夏の闇 -直筆原稿縮刷版-	開高 健/著	新潮社	2010.5	Fカイコ
0011719512	開高健 -1930-1989-(ちくま日本文学	開高 健/著	筑摩書房	2008.9	Fカイコ
0012071631	パニック・裸の王様 :改版(新潮文庫 か-5-1)	開高 健/著	新潮社	2010.4	Fカイコ
0011980139	ロマネ・コンティ・一九三五年 -六つの短篇小説-(文春文庫 か1-12)	開高 健/著	文芸春秋	2009.12	Fカイコ
0010888483	二重壁・なまけもの -開高健初期作品集-(講談社文芸文庫)	開高 健/[著]	講談社	2004.12	Fカイコ
0011814743	裸の王様・流亡記 :改版(角川文庫 か	開高 健/[著]	角川グループパブリッシング(発売)	2009.2	Fカイコ
0011310110	新しい天体(光文社文庫 か40-2)	開高 健/著	光文社	2006.11	Fカイコ
0011846600	片隅の迷路(創元推理文庫 Mか6-1)	開高 健/著	東京創元社	2009.4	Fカイコ
0080073917	見た・揺れた・笑われた(角川文庫)	開高 健/著	角川書店	1981	Fカイコ
0080071118	歩く影たち(新潮文庫)	開高 健/著	新潮社	1982.5	Fカイコ
0080078838	渚から来るもの(角川文庫 5514)	開高 健/[著]	角川書店	1983.1	Fカイコ
0080058608	岸辺の祭り(角川文庫)	開高 健/[著]	角川書店	1977	Fカイコ

【3. 旅人・釣り人 開高健】

書誌ID	タイトル	著者	出版者	出版年	分類
0000279837	ゴルフ・ゴルフ -三つの河-	開高 健/著	角川書店	1992.9	292.2
0070123987	オーパ、オーパ!! アラスカ篇 カリフォルニア・カナダ篇(集英社文庫)	開高 健/著	集英社	1990.11	787
0070038543	オーパ!(集英社文庫)	開高 健/著	集英社	1981.3	787
0000182433	もっと遠く! -南北両アメリカ大陸縦断記・北米篇-	開高 健/著	朝日新聞社	1981.9	787
0000182425	もっと広く! -南北両アメリカ大陸縦断記・南米篇-	開高 健/著	朝日新聞社	1981.9	787
0070057412	扁舟(コブネ)にて -オーパ、オーパ!! カリフォルニア・カナダ篇-	開高 健/著	集英社	1985.11	787
0070085211	海よ、巨大な怪物よ -オーパ、オーパ!! アラスカ篇-	開高 健/著	集英社	1983.4	787
0012524469	安楽椅子の釣り師(大人の本棚)	湯川 豊/編	みすず書房	2012.5	787
0012618743	忠さんのスプーン人生(Rod and Reel)	常見 忠/著	地球丸	2012.11	787
0012536691	文豪たちの釣旅(フライの雑誌社新書)	大岡 玲/著	フライの雑誌社	2012.6	787
0070016716	王様(キング)と私 -オーパ、オーパ!!-	開高 健/著	集英社	1987.2	787
0010993146	旅人開高健	高橋 昇/著	つり人社	2005.6	910.28
0011288652	開高健夢駆ける草原	高橋 昇/著	つり人社	2006.1	910.28
0011212413	長靴を履いた開高健(ラピタ・ブックス)	滝田 誠一郎/著	小学館	2006.6	910.28
0000249597	開高健・旅と表現者	吉田 春生/著	彩流社	1992.1	910.28
0000201767	開高健の旅、神とともに行け。	高橋 昇/撮影	集英社	1990.12	910.28
0080156656	私の釣魚大全	開高健/著	文芸春秋	1969	Eカイ
0000165888	オーパ	開高 健/著	集英社	1979	Eカイ
0000165889	宝石の歌 -オーパ、オーパ!!-	開高 健/著	集英社	1987.11	Eカイ
0000165890	国境の南 -オーパ、オーパ!!-	開高 健/著	集英社	1989.4	Eカイ
0011814901	河は眠らない	開高 健/著	文藝春秋	2009.2	Eカイコ
0011946734	眼ある花々/開口一番(光文社文庫 か40-9)	開高 健/著	光文社	2009.1	Eカイコ
0011607432	サイゴンの十字架(光文社文庫 か40-過去と未来の国々 -中国と東欧-(光文社文庫 か40-5)	開高 健/著	光文社	2008.3	Eカイコ
0011529649	過去と未来の国々 -中国と東欧-(光文社文庫 か40-5)	開高 健/著	光文社	2007.11	Eカイコ
0011736360	モンゴル大紀行(朝日文庫 か8-2)	開高 健/著	朝日新聞出版	2008.1	Eカイコ
0011884108	オーパ、オーパ!! アラスカ至上篇 コスタリカ篇(集英社文庫)	開高 健/著	集英社	1990.12	Eカイコ
0011884104	オーパ、オーパ!! モンゴル・中国篇 スリランカ篇(集英社文庫)	開高 健/著	集英社	1991.1	Eカイコ
0012066954	オーパ! -直筆原稿版-	開高 健/著	集英社	2010.4	Eカイコ
0012460044	開高健とオーパ!を歩く	菊池 治男/著	河出書房新社	2012.2	Eキクチ

【4. 開高健の食と酒】

書誌ID	タイトル	著者	出版者	出版年	分類
0010594202	やってみなはれみとくんなはれ(新潮文庫)	山口 瞳/著	新潮社	2003.9	588
0011163278	最後の晩餐(光文社文庫 か40-1)	開高 健/著	光文社	2006.3	596.04
0011086242	開高健が喰った!!	菊谷 匡祐/著	実業之日本社	2005.11	596.04
0011166567	食の王様(グルメ文庫 Gか1-2)	開高 健/著	角川春樹事務所	2006.3	596.04
0011714175	対談美酒について :改版 -人はなぜ酒を語るか-(新潮文庫 か-5-12)	開高 健/著	新潮社	2008.8	596.7
0011304345	美酒楽酔飲めば天国	阿川 弘之/ほか著	講談社	2006.1	596.7
0012754477	ウイスキー粹人列伝(文春新書 918)	矢島 裕紀彦/著	文芸春秋	2013.6	596.7
0000204763	開高健先生と、オーパ!旅の特別料理	谷口 博之/著	集英社	1991.9	596.9
0000449413	開高健先生と、オーパ!旅の特別料理(集英社文庫)	谷口 博之/著	集英社	1995.5	596.9
0012555282	書齋のポ・ト・フ(ちくま文庫 か53-3)	開高 健/著	筑摩書房	2012.7	900

【4. 開高健の食と酒】

書誌ID	タイトル	著者	出版者	出版年	分類
0012928483	ほろ酔い文学事典 -作家が描いた酒の情景-(朝日新書 452)	重金 敦之/著	朝日新聞出版	2014.3	910.26
0013215825	作家のごちそう帖 -悪食・鯨飲・甘食・粗食-(平凡社新書 749)	大本 泉/著	平凡社	2014.9	910.26
0013403229	たんときれいに召し上がれ -美食文学精選-	青木 正児/[ほか]著	芸術新聞社	2015.1	918.6
0012900327	あさめし・ひるめし・ばんめし -アンチ・グルメ読本-(ちくま文庫 お68-1)	日本ペンクラブ/編	筑摩書房	2014.2	E
0000493269	小説家のメニュー(中公文庫)	開高 健/著	中央公論社	1995.11	Eカイ
0012562710	ポ・ト・フをもう一度	開高 健/著	ロングセラーズ	2012.8	Eカイコ
0010590523	小説家のメニュー :改版(中公文庫)	開高 健/著	中央公論新社	2003.8	Eカイコ

【5. コピーライター 開高健】

書誌ID	タイトル	著者	出版者	出版年	分類
0011429470	『洋酒天国』とその時代	小玉 武/著	筑摩書房	2007.5	588
0012623875	職業、コピーライター -広告とコピーをめぐる追憶-	小野田 隆雄/著	バジリコ	2012.11	674
0012974181	壽屋コピーライター開高健	坪松 博之/著	たる出版	2014.4	910.28

*書誌IDとは、大阪市立図書館での資料管理番号です。
このリストの資料についてお問い合わせいただく際、タイトルなどと合わせてお申し出いただくと便利です。

小説家 開高健

【開高健(かいこう たけし) 1930-1989】

昭和時代の小説家で、戦後派文学の流れをくむ新世代の代表的存在。

1930年12月30日、父正義・母文子の長男として、大阪市天王寺区東平野町に生まれ、その後、住吉区北田辺町(現・東住吉区駒川町)に転居。幼少・青年期を大阪で過ごす。13才のときに父親を急病で失ったため、天王寺中学校、大阪市立大学法学部で学ぶ傍ら、戦後の闇市の中で工員や英会話教師などのアルバイトで一家の生活を支える。大学時代から文学を志し、在学中に長編小説「めらんこりあ・あかでみあ」をガリ版印刷で120部刊行する。

壽屋(現・サントリー)宣伝部に勤めていた1957年、「パニック」を発表。笹の実のため異常発生したネズミが起こす騒動を描く卓抜な発想が、文芸評論家・平野謙の激賞をうける。翌年の第38回芥川賞は、出席した選考委員の間で大江健三郎の「死者の奢り」と開高健の「裸の王様」に票が二分し、長時間の激論の末、開高健が受賞した。

戦後の大阪砲兵工廠(こうしょう)跡に潜む”アパッチ族”を活写した「日本三文オペラ」、冤罪(えんざい)に取り組んだ「片隅の迷路」、ベトナム戦争の苦悩に迫った「輝ける闇」「夏の闇」などの社会・時代を捉えた小説を書く一方で、「青い月曜日」「見た・揺れた・笑われた」「耳の物語」などの自伝的な私小説も残している。釣魚紀行、探訪記、人物論集、対談集も多数ある。

行動家で知識が広く、ユーモアを忘れない昭和戦後期を代表する文学者だったが、癌に倒れ、1989年12月9日、58歳の若さで没した。墓は神奈川県鎌倉市山ノ内の円覚寺塔頭、松嶺院にある。

〈参考〉商用データベース「Japan Knowledge」より「国史大辞典」「日本大百科全書(ニッポニカ)」, JapanKnowledge, <http://japanknowledge.com>, (参照 2015-06-16)「大阪人物辞典」(三善貞司/篇、清文堂出版)

開高健・代表作 〈参考〉「開高健 生誕80年記念総特集」(河出書房新社)

「パニック」(短編/1957年発表)

開高健の文壇デビュー作。雑誌「新日本文学」に発表、文芸評論家・平野謙の激賞をうける。ある地方では、120年ごとに笹が実を結ぶと野ネズミが大量発生する。県庁の一職員は予防策を進言するが、退けられた。雪解けとともに起こったネズミの大発生は3つの県にわたって被害をもたらし、県庁では責任回避から知事のリコール運動が起こる。大自然の暴威と、それに直面しつつも権力争いにうつつをぬかす人間の卑小さを描く。

「裸の王様」(短編/1957年発表)

第38回芥川賞を受賞。

主人公の「ぼく」の画塾に、ひとりの少年が連れられてくる。画材会社社長の後妻が、先妻の息子・太郎が人間の登場する絵を描かないことを気に病んで、絵の指導を求めてきたのだ。少しずつ会話を重ね、「ぼく」は太郎の心を画用紙のうえに解き放してゆく。青年と孤独な少年の心の交流を描く。

「日本三文オペラ」(長編/1959年発表)

作者曰く「ラブレ、スウィフト、関西落語、西鶴」など、あらゆる文学的素材を足がかりにして書いた、初の長編小説。大阪の旧陸軍砲兵工廠(こうしょう)周辺に住み、鉄の残骸を掘り起こし、盗み取っては売りさばっていた通称”アパッチ族”に取材して書かれた。終戦直後の大阪を舞台にしたピカレスク小説。

開高健 略年譜

資料②

1930	昭和5		12月30日、大阪市天王寺区東平野町1丁目13番地(現在の天王寺区上本町5丁目)に生まれる。父・正義、母・文子の長男。
1931	昭和6	1歳	生後11ヶ月で腸炎を患うが、奇跡的に助かる。
1937	昭和12	7歳	4月、大阪市立東平野小学校に入学。 12月、住吉区北田辺町(現在の東住吉区駒川町)に転居。
1939	昭和14	8歳	4月、大阪市立北田辺小学校3年生に転入。
1943	昭和18	13歳	3月、大阪市立北田辺小学校を卒業。成績は優秀で、卒業生総代として答辞を読む。 4月、大阪府立天王寺中学校(現・天王寺高等学校)に入学。 5月、鶴橋国民学校教頭であった父親が腸チフスのため急死。
1948	昭和23	18歳	4月、旧制大阪高等学校(大阪大学一般教養部南校の前身)に入学。
1949	昭和24	19歳	4月、学制改革により大阪市立大学を受験、入学。
1950	昭和25	20歳	1月、処女作「印象生活」を「市大文芸」に発表。
1951	昭和26	21歳	7月、私家版として『あかでみあ めらんこりあ』を刊行する。処女作品。 12月もしくは翌年1月、住吉区杉本町の詩人仲間・牧羊子宅に移る。
1952	昭和27	22歳	7月、長女道子誕生。
1954	昭和29	24歳	2月、壽屋(現・サントリー)に入社、宣伝部に配属。
1955	昭和30	25歳	11月、東京支店転勤にともない、東京都杉並区に転居。
1956	昭和31	26歳	4月、PR誌「洋酒天国」を創刊、編集発行人となる。
1957	昭和32	27歳	8月、「パニック」を雑誌「新日本文学」に発表。文芸評論家・平野謙の激賞をうける。 10月に「巨人と玩具」、12月に「裸の王様」と、話題作を次々に発表。
1958	昭和33	28歳	2月、「裸の王様」で第38回芥川賞を受賞。
1960	昭和35	30歳	5～7月、中国訪問日本文学代表団の一員として訪中。
1961	昭和36	31歳	7～9月、アイヒマン裁判の傍聴のため、イスラエルを訪れる。
1962	昭和37	32歳	7～8月、サントリーの佐治敬三とビール開発事業のため北歐・西ドイツの醸造所を視察。
1964	昭和39	34歳	11月、朝日新聞の海外特派員としてベトナムに旅立つ。
1965	昭和40	35歳	2月14日、南ベトナム戦線取材中にベトコンに包囲され、攻撃をうける。200人の大隊のうち、生き残ったのは開高健を含む17人のみ。2月24日に帰国。 5月、「ベトナムに平和を！」市民文化団体連合の呼びかけ人となる。
1968	昭和43	38歳	4～10月、文藝春秋の臨時特派員として五月革命のパリを取材。東西ドイツ、サイゴンなどを経て帰国。 11月、「輝ける闇」で第22回毎日出版文化賞を受賞。
1969	昭和44	39歳	6～10月、朝日新聞臨時海外特派員として「フィッシュ・オン」の取材旅行で各地をめぐる。
1973	昭和48	43歳	2～5月、「文藝春秋」「週刊朝日」特派員として第一次和平調印直後のベトナムを訪れる。
1974	昭和49	44歳	12月、神奈川県茅ヶ崎市に転居。
1977	昭和52	47歳	8～10月、「オーパ」取材旅行のため、ブラジルへ。
1979	昭和54	49歳	6月、「玉、砕ける」で第6回川端康成文学賞を受賞。 7月～翌年4月、南北アメリカ大陸縦断・釣魚旅行。
1981	昭和56	51歳	11月、一連のルポルタージュ文学により、第29回菊池寛賞を受賞。
1987	昭和62	57歳	6月、「耳の物語」で第19回日本文学大賞を受賞。
1989	昭和64/ 平成元年	59歳	3月、茅ヶ崎市内の病院で食道狭窄の診断を受け、東京都港区の病院に入院。 12月9日 食道腫瘍に肺炎を併発し、東京都港区の済生会中央病院で死去。 北鎌倉・円覚寺松嶺院に眠る。

※この年表は大阪市立中央図書館図書展示「オーパ！世界の旅人 開高健展(平成27年6月19日(金)～7月15日(水)開催)の展示リストの一部として、職員が作成しました。参考図書:「開高健 Portrait de Kaiko」(開高健記念会)、「開高健一生誕80年記念総特集一」(河出書房新社)、「開高健の世界」(開高健記念会)、「開高健全集 第22巻」(新潮社)、「壽屋コピーライター開高健」(たる出版)

旅人 開高健

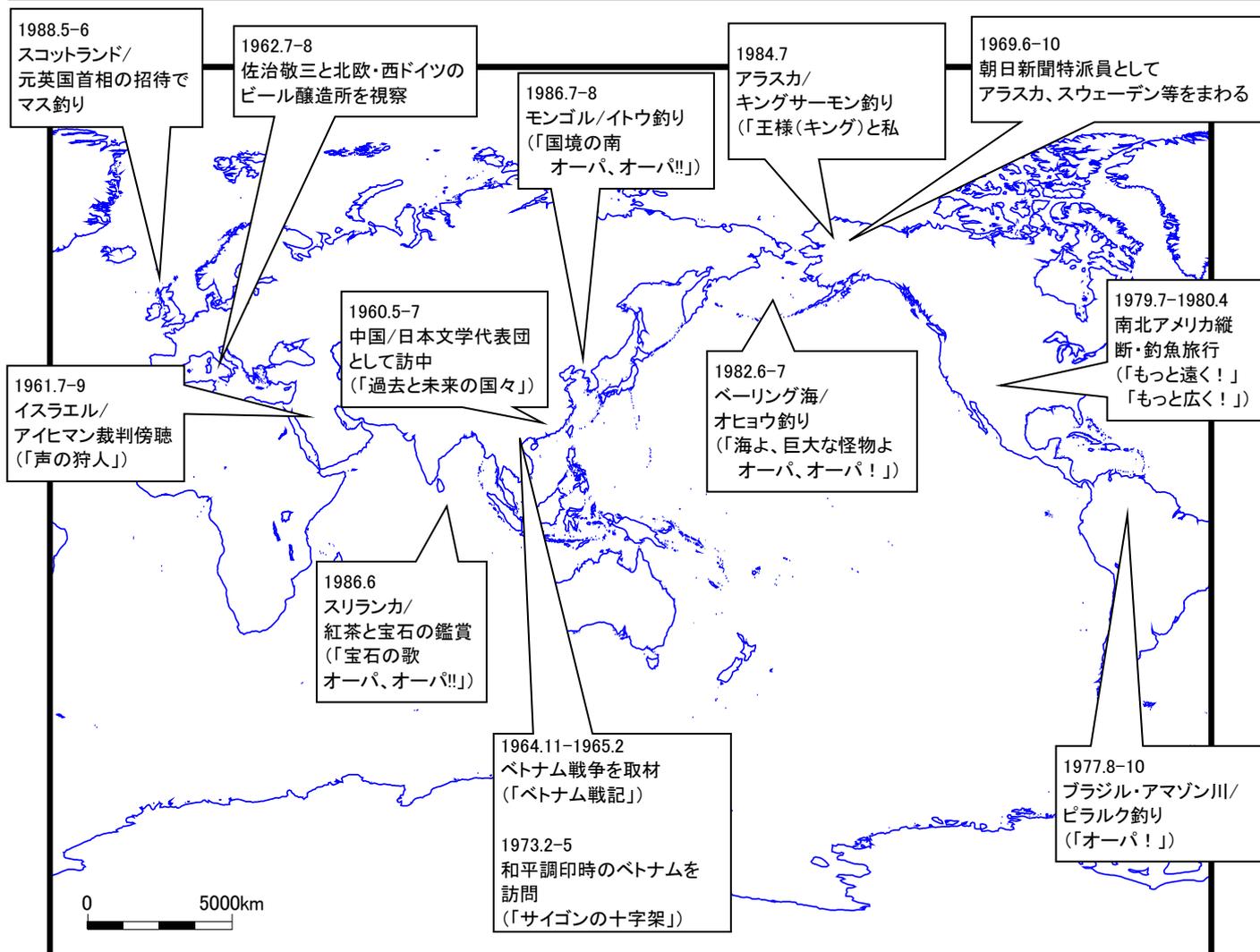
【旅人・開高健】

開高健は、よく旅をする作家でもあった。その作家人生の前半では紛争地域に赴きルポルタージュを記し、後半では釣り人として大魚を求め、世界をまわった。

1960年、日本文学代表団の一員として中国を訪問、毛沢東や周恩来など中国政府の要人と会見する。その数カ月後には、ルーマニア平和委員会の招待を受け、ルーマニア・ポーランド・チェコスロバキアを旅行。これら誕生して間もない社会主義国での見聞を、「過去と未来の国々-中国と東欧-」として発表した。

1964年、朝日新聞の臨時海外特派員としてベトナムに渡り、ベトナム戦争の様子を取材するため各地をまわる。1965年2月14日、南ベトナム政府軍に従軍しジャングルをゆく途中で、ベトコンの待ち伏せにあい攻撃を受ける。200人の大隊のうち、生き残ったのは開高健と同行の秋元カメラマンを含む17人のみ。この体験は「ベトナム戦記」となり、平和の裡にある日本に、海の向こうの現実を突きつけた。

後半生では大好きな釣りを楽しみ、大魚を求めて世界の海・大河を渡り歩く。「オーパ！」シリーズはルアーや竿を使っての魚との格闘や、現地の雄大な風景の描写、プロの調理人たちを同行するグルメマンぶりが、釣り好き以外の人々にも大いにうけ、人気を博した。



コピーライター 開高健

【コピーライター・開高健】

コピーライターとしての開高健の第一歩は、夫人の牧洋子が勤務先である壽屋（現・サントリー）の専務・佐治敬三のもとに、開高健が作成した洋酒宣伝文の私案を持ち込んだことから始まる。開高健は育児中の牧洋子とトレードする形で1954年2月に壽屋に入社、宣伝部に配属される。

小売店向けPR誌「発展」の編集で経験を積み、1956年4月には壽屋のPR誌「洋酒天国」を創刊、編集人となる。このときの宣伝部には、柳原良平・山口瞳・坂根進と多士済々の顔ぶれが集まっていた。コマーシャル色を極力廃し、酒に関する蘊蓄（うんちく）や洒落なエッセイなどを満載した「洋酒天国」は、トリスバーの酔客に人気を博し、「夜の岩波文庫」と呼ばれて愛された。

同時期、柳原良平の描くところの「アンクル・トリス」と開高健のコピーによるトリスウイスキーの広告が、新聞の紙面を飾る。

これら壽屋宣伝部の一連の広告活動は、1959年8月、第5回毎日産業デザイン賞を受賞。広告を文化にまで高めたと評される。

〈参考〉「開高健がいた」（平凡社）、「『洋酒天国』とその時代」（筑摩書房）、「サライ」2005年9月号（小学館）

私を腐敗した潮に
手を使つてささいたら
ならなくてすむ。

（「頁の背後」より）

アキカゼ フイタ」コオロギ ナイタ
グラスモフイタ」TORYSノロツク
マスマスサエル」マトマツテコイ
（1965年9月 トリスウイスキー広告）

旅は成就した。
円は閉じた。

（「王様（キング）と私
オーバ、オーバ!!」より）

開高健 名言・名コピー

入つてきて
人生と叫び
出ていつて
死と叫ぶ

（「夏の闇」より）

「人間」らしく
やりたいナ

トリスを飲んで
「人間」らしく
やりたいナ

「人間」なんだからナ

（1961年2月 トリスウイスキー広告）

心はホラ吹き男爵、
眼は科学者、
腕は釣り師の、
三位一体である。

（「国境の南
オーバ、オーバ!!」より）

シンシンの夜は
チクチク飲んで

オレはオレに
優しくしてやる

そうすることに
してある

チクチクとナ
トリスでナ

（1967年1月 トリスウイスキー広告）